

48th

令和3年度 7月号 [7月15日(発行)]

校訓 自主・協同・創造



岸川中だより

川口市立岸川中学校
川口市安行領根岸374番地の1
TEL268-4506 FAX268-4761
特別支援学級 TEL268-7110
さわやか相談室TEL268-4510
<https://kishikawa.official.jp>

懐かしのプール

校長 松田 隆幸

先日、体育科の先生方からプール掃除をする情報を得ました。私にとっては、岸川中学校のプールは特別な場所です。私もさっそく水着に着替えて、プール掃除を行いました。今回は私の岸川中学校から始まる思い出話を少々……。

お隣の北中出身の私は、中学入学＝水泳部入部 と決めていました。泳ぐことは小学生の時から、水泳を習い事として「やらされていた」ため、少々泳ぎには自信があり、選択肢は水泳部だけでした。しかし、中学校に入学しても、プールが北中にはありませんでした。北中の跡地に根岸小学校ができ、北中が現在の地でリスタートする際にプールは完成間近であり、まだ使えませんでした。幸いに北スポーツセンターで練習できましたが、大会は外のプール。そこで、当時の顧問の先生は、外のプールに慣れるため？を考えたのか、先生に連れられて、岸川中学校のプールをお借りして練習することとなりました。当時を知る地域の方々は、ここまで読んでピンと来たと思いますが、その時の岸川中学校水泳部顧問は並木茂夫先生という方でした。もともと水泳部は他校と練習を一緒に行うことや、ましてや練習試合などを行うことはありませんでした。数回しかなかった岸川中学校での練習が、私の記憶に鮮明に残っているのは、他校と関わることができただけでなく、当時の北中からは考えられなかった光景が岸川中学校で発見できた衝撃が記憶として今に残っているのだと思います。それは、まずは髪型……坊主じゃない！衝撃的でした。次に、水泳部のチームとしての結束力の強さ……。これには相当に参った感があったことを覚えています。あとは、並木先生のオーラ！背筋が伸びたことを覚えています。

やがて、松田少年は、教師を目指すこととなり、高校・大学では水球を行い、体育の先生になったのでした。そして、最初に赴任した学校の教頭先生が、アノ並木先生であり、毎日のように私の授業について、「下手くそ！」を連呼。「どうやったらあんなに下手な授業ができるんだ？」と、問われたこともあります。初めての転勤で行った学校の校長先生も並木先生。運命をこれほど強く感じたことはありませんでした。来る日も来る日も「下手くそ」と言われ続けました。そんなお小言(当時はパワハラなんて言葉は存在しませんでした)の中で、「アンタは水泳専門なんだから、泳げない生徒がうちの学校にいるってことは、恥ずかしいんじゃないの？」この一言で私は、「指導者」としての気持ちに火が付き、実技の分野も保健の分野でも、少しは指導者として少しは腕が上がったのではないかと思います。

よくよく考えれば、人生の1/4は夏です。泳げないのは、人生25%を楽しみ切れないのかも？今年は大変な形ですが、プールの授業が行われています。梅雨明け前で少し寒い日もあるところですが、新型コロナ感染拡大防止策をとりながら、楽しい夏休みのためにも、人生25%の夏を楽しむためにも、生徒たちには水泳の授業を楽しんでもらいたいと思うばかりです。

令和5年岸川中学校は創立50周年
2023 Kishikawa.J.H.S 50th ANNIVERSARY